中期経営計画の概要

「CF26」が目指す経営改革

三社電機グループは、2033年度に目指すありたい姿の実現に向け、中期経営計画「CF26」を推進してきました。キーワードは「Create the Future」。パーパスに基づき、パワーエレクトロニクスと創造力で未来を切り拓く意志を込めています。

「CF26」は、「Global Power Solution Partner」の実現と、将来にわたり自己資本利益率（ROE）10%以上を安定的に創出できる企業への変革を目指す3年間の経営改革です。成長市場への経営資源の集中や人的資本を含む戦略的投資を進め、事業成長と収益性の向上に取り組んできました。しかし、この2年間は市場環境の変化などにより計画どおりの業績を達成できませんでした。パワー半導体事業では顧客の在庫調整の長期化、電源機器事業では成長市場向け新製品の開発遅れなどにより、売上・利益ともに中期経営計画で掲げた目標を下回る見込みです。

2026年度は「CF26」の最終年度として、事業計画の達成に向けて全力で取り組んでいます。同時に、「CF26」の成果と課題を踏まえ、次期中期経営計画の策定を進めています。次期中期経営計画では、成長市場への「選択と集中」をさらに推進し、販売拡大と収益力の強化に取り組んでいきます。

(億円)

目標数値	2024年度		2025年度		2026年度	
	中期経営計画	実績	中期経営計画	実績	中期経営計画	業績予想
売上高	288	254.4	310	266.5	330	280.0
営業利益	14	10.7	18	13.8	22	13.0
経常利益	14	11.8	18	11.3	22	13.0
親会社株主に帰属する当期純利益	9	5.0	12	3.8	15	9.1
自己資本利益率(ROE) (%)	4.1	2.1	5.2	1.5	6.2	3.6

進捗

中期経営計画　基本方針	主要施策	2025年度の主な取り組み・成果	2026年度の主な取り組み
半導体事業 高性能デバイスで省エネと電力の安定供給に貢献	• SiC（シリコンカーバイド）製品のラインアップ拡充と新規販路開拓 • インフラ分野への展開を拡大	• 1700V耐圧SiC MOSFETの開発 • インフラおよび産業分野での用途拡大	• 原材料費の高騰への対応 • 新規設備稼働による生産性向上 • 新製品の販売実現
電源機器事業 エネルギーマネジメント分野で系統安定化技術を駆使し、当社の地位を強固にする	• 産業設備から社会インフラまで幅広い分野で電源機器を提供 • 再生可能エネルギーやデータセンター分野への展開を強化 • サービス事業の拡大	• 大型電源装置の受注拡大 • 5メガワット対応試験システムの開発 • パワーコンディショナーのメンテナンスなどサービス分野の売上拡大	• データセンター関連業界など活況な市場向けの拡販 • 新規設備稼働による生産性向上 • 他社製品を含めたメンテナンス事業の拡充
サステナビリティ戦略 環境負荷の軽減と活力ある風土づくり	• 環境対応・人材育成・業務基盤強化を通じて、持続的成長を支える体制を構築	• CO_2排出量を2013年度比43.3%削減 • 次世代リーダー育成研修の実施 • 生成AI活用拡大 • 事業継続計画（BCP）訓練の実施	• CO_2排出量を2013年度比40%削減 • 多様な人材が活躍し、成長し続ける組織の実現 • 強靭な事業基盤の構築とステークホルダーへの安定的な価値提供
財務戦略 投下資本を最大限活用し、ROEを資本コストを上回る水準へ向上	• 連結営業利益をベースとしたROAの向上 • 株主還元の充実	• 売上増加による増益の効果が寄与し、ROA4.2%（前期比+1.1ポイント） • 株主還元方針（→P20）に基づき、年間配当金40円を実施	• 事業本部制への移行による、収益責任の明確化 • 年間配当金40円を予定